

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成23年10月6日(2011.10.6)

【公開番号】特開2010-69147(P2010-69147A)

【公開日】平成22年4月2日(2010.4.2)

【年通号数】公開・登録公報2010-013

【出願番号】特願2008-241812(P2008-241812)

【国際特許分類】

A 47 K 10/16 (2006.01)

D 21 H 27/00 (2006.01)

【F I】

A 47 K 10/16 A

D 21 H 27/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月23日(2011.8.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

二枚以上の帯状の連続衛生薄葉紙が重ねられた連続シートを巻取って円筒状とした衛生薄葉紙ロールであって、

前記連続シートは、エンボス加工が施されているとともに模様が印刷され、かつ、縦方向の乾燥引張り強度が250～450cN/25mm幅であり、横方向の乾燥引張り強度が120～190cN/25mm幅であり、

前記連続衛生薄葉紙は、古紙パルプを80～95%含み、バージンパルプを5～20%含み、米坪が12.5～14.5g/m<sup>2</sup>であることを特徴とする衛生薄葉紙ロール。

【請求項2】

前記連続衛生薄葉紙を構成する纖維の平均纖維長が1.15～1.40μmである請求項1記載の衛生薄葉紙ロール。

【請求項3】

前記連続シートは、着色されて白色以外の地色を有している請求項1記載の衛生薄葉紙ロール。

【請求項4】

前記連続シートは、水解性を有する請求項1記載の衛生薄葉紙ロール。

【請求項5】

衛生薄葉紙ロールは、巻き硬さが0.3～0.6kgfである請求項1記載の衛生薄葉紙ロール。

【請求項6】

衛生薄葉紙ロールは、巻き径が107～109mm、巻き長さが25～26mである請求項1記載の衛生薄葉紙ロール。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 0 4 】

上記課題を解決した本発明は次記の通りである。

< 請求項 1 記載の発明 >

二枚以上の帯状の連続衛生薄葉紙が重ねられた連続シートを巻取って円筒状とした衛生薄葉紙ロールであって、

前記連続シートは、エンボス加工が施されているとともに模様が印刷され、かつ、縦方向の乾燥引張り強度が 250 ~ 450 cN / 25 mm 幅であり、横方向の乾燥引張り強度が 120 ~ 190 cN / 25 mm 幅であり、

前記連続衛生薄葉紙は、古紙パルプを 80 ~ 95 % 含み、バージンパルプを 5 ~ 20 % 含み、米坪が 12.5 ~ 14.5 g / m<sup>2</sup> であることを特徴とする衛生薄葉紙ロール。